



テレビのない生活

私の家にはテレビがありません。

学校訪問をした際に子ども達と会話をすると、「マリコさん、昨日テレビで〇〇見ましたか?」と聞かれたりします。妖怪ウォッチやお笑い芸人の話だったり、最近流行っているテレビ番組がよく話題になりますが、「実は、家にテレビがないの」と言うと、「へーどうして?」という返事がほとんどです。テレビがあるとやらなきゃいけないことも先延ばしにしてしまうので、私はテレビのない生活を送っています。

大学の頃に友達とルームシェアをしていた事があります。その頃にはテレビがありました。DVDを観たりパソコンを繋げてYouTubeの動画を観るぐらいで、テレビ番組はほとんど観ませんでした。また、その頃は宿題や試験勉強、バイトなどが忙しくてテレビを観る暇もありませんでした。

テレビのない生活は不便だと思う方もいるかもしれませんが、アパートにはインターネットがあり、最新情報やDVDを観たい時にはパソコンが使えるし、スカイプで友達と画面共有すると一緒に映画を観ることもできます。

私の友人も家にテレビを置いていない人が結構います。テレビがない分、余暇の時間が多くなるので、運動をしたり、お菓子作りをしたり、友達と出かけることもできます。

アパートにテレビを置いていないからこそ更に充実した生活ができると私は思います。

みなさんもテレビのない生活を試してみてくださいはどうか?

A TV Free Lifestyle

I do not own a television. When I visit schools and chat with the children, I'm asked questions like "Mariko-san, did you watch ___ on TV yesterday?" The conversations often turn into television-related topics, like Youkai Watch, comedic skits, or something else that may be popular at the time. But, when I tell the children "Actually, I don't have a TV," their reaction is usually "What?! Why not?" If I had a television I know I would end up procrastinating, so I live a television free lifestyle.

There was a period in college when I shared an apartment with friends, and back then we did have a television. However, other than watching DVDs or connecting our computers to the television to watch YouTube videos, we never watched actual cable television. Another reason might be that I was always busy with homework, studying, and working part-time that I didn't have any time to watch it.

Some of you might think that not owning a television is inconvenient, but I do have internet at my apartment so I've never had any trouble. If I ever need up-to-date information or want to watch a DVD I'm able to use my laptop. I can also watch movies with my friends using the screen share function on Skype. Now that I think about, most of my friends here don't have televisions in their homes, either. Not owning one means I have ample time to do other things, such as exercise, cook meals or make baked goods, and go out with friends. I believe that not owning a television is precisely why I've been able to live such a satisfying lifestyle while being here. You should give the TV-free lifestyle a try, too!



さきやま あきふみ
崎山 瑛史ちゃん (0歳) 大平在



の は あんり
饒波 愛莉ちゃん (0歳) 西原在



ともり そういちろう
友利 宗一郎ちゃん (0歳) 西原在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。

窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。

※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎876-1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイサイ! こちら市長室!

「国保もゆいまる」

私たちは今、高齢化社会による医療費の急激な伸びに対して、どう向き合っていくべきかという難しい課題に直面しています。昨年から市議会での大激論を経て、その対応策の一つとして今年度から国民健康保険税をモデル一世帯あたり年間約8,800円引き上げさせて頂くことになりました。国保世帯の皆さまには負担をお願いすることになり、市長として大変苦しい決定です。しかし、医療費は誰かが払わなくてはならず、今回値上げをしなければ、市民の約3割を占める国保世帯の医療費等の一部(約2億6千万円)を、教育や福祉等に充てる一般会計予算をさらに削って、そこから回さなくてはなりません。

これまでは標準モデル世帯で県内11市中10番目の保険税でしたが、今回の値上げにより7番目になり、それでもまだ県内11市の平均より低い保険税にとどめていいます。また、増額をしてもなお足りない分に関しては国保加入者以外の市民への協力をいただきながら一般会計からも引き続き一定の額を補填してまいります。

時期尚早を理由に先延ばしにしても、誰かが助けてくれるわけではなく、更なる痛みを次の世代に先延ばしにするだけです。私たちが今回苦しい思いのなかで決断したのは、高齢世代を支える若い世代の負担がさらに増えることによる世代間格差を発生させてはならないと考えたからです。

問い合わせ 秘書課
☎876-11234
(内線2563)



詳細については今月号の広報うらそえ223ページと平成26年12月号の45ページに掲載していますので、そちらをご覧ください。



浦添市長
松本哲治

文化課発信 うらそえー ありんくりん 第2回

～経塚の碑～

5月といえばゴールデンウィークですね。行楽に行かれる方も多いと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。

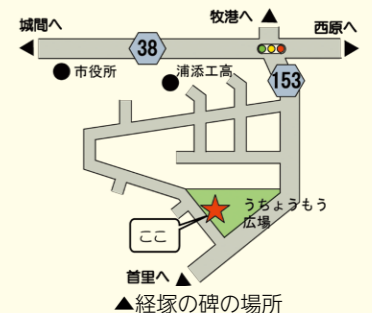
第2回目は、浦添市の指定文化財である「経塚の碑」について紹介します。この石碑は、経塚一丁目の県道153号線沿い、うちょうもう広場内に位置しています。この石碑には次のような伝承があります。

昔、経塚の碑があるあたりは妖怪が多く出没し、通行人を困らせていました。沖縄の真言宗中興の祖といわれる日秀上人が、金剛経を小石に書き写してして埋め、その上に「金剛嶺」の三字を刻んだ碑石を建てました。すると、妖怪が現れることはなくなり、人々は安心して通行できるようになったということです。金剛経を小石に書き写した例は、国頭村字奥間や伊江村字東江上、石垣市富崎にもあるとされますが、「経塚」と地名になっているところはここだけです。

また、首里城から中城城へ書状を配達した人が、その帰りに休息のため酒を飲んで経塚で寝てしまいました。目が覚めると、地震があったということで民衆は騒いでいましたが、経塚は全く揺れなかったのが本人は気付かなかったという話しが伝わっています。このことから、地震の際に「チョウチカチカ」や「チョウチカ、チョウチカ」と唱えたと地震がおさまるとい民間信仰が生まれたということです。「経塚の碑」をぜひ一度ご覧いただき、日秀上人の伝説に思いをはせてみてはいかがでしょうか。ではまた来月!!



▲経塚の碑(浦添市経塚)



▲経塚の碑の場所

問い合わせ 文化課 内線6214・6217